米国、英国の審査体制

| | 米 国 | 英国 | |
|-----------------------|---|--|--|
| 所管庁 | 保健·福祉省:DHHS 公衆衛生局:PH S | 保健省:DOH | |
| 審査機関 | 食品医薬品庁:FDA 医薬品評価研究センター:CDER | 医薬品管理庁:MCA | |
| OTC 薬の審査 担当部門 | OTC 部(医薬品評価研究センターの1部門;別紙組織図) | OTC 薬審査担当部門は特にない。審査期間は通常3~9 ヶ月 | |
| 申請事前相談制度 | 申請企業と FDA は、開発の初期から相談 | 制度化されていない。ただし、実態として審査官が申請 企業の事前相談に応じている | |
| 諮問機関 | 非処方せん薬諮問委員会:NDAC | 薬事審議会:MC 医薬品安全委員会:CSM 医薬品再評価委員会:CRM | |
| スイッチ OTC 化の 手続き | モノグラフの修正 モノグラフは、OTC 薬の再評価に基づき「一般に有効で安全と認識され、かつ表示が適切な OTC 薬の基準」をいう。モノグラフに適合する品目の製造・販売は事後届出で行うことが出来る。 FDA 主導又は企業 ,一般市民の請願によりモノグラフを修正し、新た、成分を追加する。これによりスイッチが行われる。 NDA (モノグラフ収載成分以外) モノグラフ収載成分以外は個別に OTC 薬評価手続きにより審査される。販売承認が得られるまで機密が保持され、競争相手に対し有利になるので、最近は NDA によるスイッチが多い。 | POM(処方せん薬)から P(薬局でのみ販売できる医薬品) へのスイッチ (医薬品の法的地位の変更) POMリストの修正 MCA が CSM の助言に基づき POM を修正し、収載されている成分を P に移行させる。これによりスイッチが行われる。(MCA は ,POM リスト成分等について日常的に調査検討している) 企業の申請に基づくスイッチ MCA の審査を経てスイッチが認められる。スイッチには、POM の成分をそのまま P に切り替える場合と、一日服用量や包装単位を変えたものを P とする場合がある。後者の場合、同一成分が処方せん薬および OTC 薬の両方に販売される。 | |
| スイッチ OTC の 候補成分リスト | 米国大衆薬協会から公表されている | 英国薬学会から公表されている | |

| CDER | Center for Drug Evaluation and Research 医薬品評価研究センター | CRS | Committee on Review of Medicines 医薬品再評価委員会 |
|------|---|-----|---|
| DHHS | Department of Health and Human Services 保健・福祉省 | CSM | Committee on Safety of Medicines 医薬品安全委員会 |
| FDA | Food and Drug Administration 食品医薬品庁 | DOH | Department of Health 保健省 |
| NDA | New Drug Application 新薬承認申請 | MCA | Medicines Control Agency 医薬品管理庁 |
| NDAC | Non-Prescription Drug Advisory Committee 非処方せん薬諮問委員会 | Р | Pharmacy Sales Medicines 薬局販売医薬品 |
| PHS | Public Health Service s 公衆衛生局 | POM | Prescription only Medicines 処方せん薬 |

米国 FDA の医薬品審査機関 CENTER FOR DRUG EVALUATION AND RESERCH (CDER)の組織

